

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年6月30日(2016.6.30)

【公開番号】特開2016-27751(P2016-27751A)

【公開日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-011

【出願番号】特願2015-193324(P2015-193324)

【国際特許分類】

H 04 L 12/58 (2006.01)

G 06 F 13/00 (2006.01)

【F I】

H 04 L 12/58 100 F

G 06 F 13/00 610 S

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月10日(2016.5.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電子メールの中継制御処理に使用する中継制御ルールを複数記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された中継制御ルールを電子メールに対して適用することで、前記電子メールに対する中継制御処理を実行するルール適用手段と、

前記ルール適用手段により前記電子メールに対して適用された中継制御ルールを示す情報を通知する通知手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記ルール適用手段により適用された中継制御ルールを示す情報に対する選択操作を受け付ける選択受付手段と、

前記選択受付手段により選択を受け付けた中継制御ルールの詳細情報を表示する表示制御手段と、

を備えることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記ルール適用手段は、さらに、複数の電子メールに対して中継制御ルールを適用することを特徴とし、

前記表示制御手段は、さらに、前記ルール適用手段により中継制御ルールが適用された電子メールをリスト形式で表示することを特徴とし、

前記通知手段は、前記電子メールが表示されたリスト上に適用された中継制御ルールを示す情報を表示することで、当該適用された中継制御ルールを通知することを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

電子メールの中継制御処理に使用する中継制御ルールを複数記憶する情報処理装置における情報処理方法であって、

前記情報処理装置のルール適用手段が、前記記憶された中継制御ルールを電子メールに対して適用することで、前記電子メールに対する中継制御処理を実行するルール適用工程と、

前記情報処理装置の通知手段が、前記ルール適用工程により前記電子メールに対して適用された中継制御ルールを示す情報を通知する通知工程と、  
を備えることを特徴とする情報処理方法。

**【請求項 5】**

電子メールの中継制御処理に使用する中継制御ルールを複数記憶する情報処理装置において実行可能なプログラムであって、

前記情報処理装置を、

前記記憶手段に記憶された中継制御ルールを電子メールに対して適用することで、前記電子メールに対する中継制御処理を実行するルール適用手段と、

前記ルール適用手段により前記電子メールに対して適用された中継制御ルールを示す情報  
報を通知する通知手段として機能させるためのプログラム。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明は電子メール等の電子データの中継制御に用いられた中継制御ルールを通知する  
ことで、いずれの中継制御ルールが適用されたのかを認識することを可能にする仕組み提  
供することを目的とする。

**【手続補正 3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明によれば、電子メール等の電子データの中継制御に用いられた中継制御ルールを  
通知することで、いずれの中継制御ルールが適用されたのかを認識することが可能となる

。